

第十八改正日本薬局方解説書—条文・注・解説— 正誤表

(令和3年12月4日 初版発行)

| 頁 | 行 | 誤 | 正 |
|--------|--------------|---|---|
| A-15 | ↓3 | 鉛 (Pb) | 鉛 (Pb) |
| B-722 | ↓10 | 9000mL | 900mL |
| B-821 | ↑11 | 70%未満である | 80%未満である |
| B-954 | ↓7 | 密度約 0.90 | 密度約 0.90 g/mL |
| B-1333 | ↑16 | (C ₂₂ H ₂₈ FN ₃ O ₆ S) ₂ Ca | (C ₂₂ H ₂₇ FN ₃ O ₆ S) ₂ Ca |
| B-1360 | ↑11 | 日本工業規格 | 日本産業規格 |
| C-563 | ↑12～10 | 薬効薬理 ニトロ化合物に共通の作用を現す。即ち、分子内から一酸化窒素 (NO) を遊離し、これが血管細胞内のグアニル酸シクラーゼを活性化し、細胞内サイクリック GMP を増量して血管平滑筋の弛緩を起こす。(→ ニトログリセリン) | 薬効薬理 体内でほとんど代謝を受けないため、濃厚液を大量に投与すると組織中の水分を血液中に移動させる。腎糸球体で容易にろ過され、糸球体ろ過量を増加させるとともに、尿細管で再吸収されないため、尿細管腔内の浸透圧が上昇し、水の再吸収が抑制される。その結果、電解質及び水の排泄が増加し、組織中の水分量が減少するため、頭蓋内圧や眼圧が低下する。 |
| C-563 | ↑9～8 差し換え | 副作用 頻度の高いものとしては、頭痛、悪心・嘔吐などの消化器症状などがあり、その他、発疹、(長期連用) 電解質異常などに注意が必要である。 | 副作用 ショック、アナフィラキシー様症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、発疹、呼吸困難、血圧低下、動悸等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行う。その他、頭痛、悪心・嘔吐などの消化器症状などや、発疹、(長期連用時の) 電解質異常などに注意が必要である。 |
| C-563 | ↑7～5 | 相互作用 重要な基本的注意：本薬とアステミゾールを併用すると、QT 延長、心室性不整脈を起こすおそれがあるので、本薬投与中はアステミゾールを併用しない。 | 削除 |
| C-1466 | ↓3 | Besylate | Besilate |
| C-3023 | ↓11～12 | 約 0.9 の類縁物質 D 及び上記以外のピークの面積は、標準溶液のゾピクロンのピーク面積の 1/10 より大きくない。 | 約 0.9 の類縁物質 D のピーク面積は、標準溶液のゾピクロンのピーク面積の 1/10 より大きくなく、試料溶液のゾピクロン及び上記以外のピーク面積は、標準溶液のゾピクロンのピーク面積の 1/10 より大きくない。 |

| 頁 | 行 | 誤 | 正 |
|--------|------|---|---|
| C-3138 | ↑ 3 | Na ₂ CO ₃ 52.99mg に対応する (→ 炭酸ナトリウム ^{注6)}) | Na ₂ CO ₃ 53.00mg に対応する (→ 炭酸ナトリウム水和物 ^{注6)}) |
| C-3886 | ↑ 7 | ^{副作用} 特別なものは知られていない. | 削除 |
| C-3886 | ↑ 3 | 酸素吸入に併用する場合には, 純酸素に対して 5~10vol%を混合する. | 酸素吸入に併用する場合は通常純酸素に対して 数%本品を混ぜる. |
| C-3886 | ↑ 1 | 追加 | ^{その他} 注意点: 二酸化炭素を高濃度に含むガスをヒトが吸入すると, その毒性により数分で致死的になることが知られている. したがって, 本品 (局方二酸化炭素) を直接吸入させることは避けること. |
| C-4077 | ↓ 19 | 50.0 mg | 50 mg |
| C-4082 | ↑ 2 | 50.0 mg | 50 mg |
| C-4086 | ↓ 16 | 50.0 mg | 50 mg |
| C-4089 | ↑ 2 | 50.0 mg | 50 mg |
| C-4255 | ↓ 12 | 類縁物質 L 及び約 1.13 の類縁物質 K | 類縁物質 K 及び約 1.13 の類縁物質 L |
| C-4255 | ↓ 18 | 類縁物質 L | 類縁物質 K |
| C-6311 | ↑ 7 | [80382-23-6] | [226721-96-6] |
| D-352 | ↑ 17 | 1-ブタノールと振り混ぜ, 1-ブタノール層 | 1-ブタノールと振り混ぜ, 1-ブタノール層 |
| D-590 | ↓ 3 | 幅 0.1~0.5 mm | 幅 0.1~0.5 cm |
| D-747 | ↑ 6 | 本品の 1.0 g | 本品 1.0 g |
| D-1018 | ↓ 13 | 定量用サイコサポニン b ₂ 標準溶液 | 定量用サイコサポニン b ₂ 標準試液 |